学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	総合書道	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の諸活動の経験を生かし､表現と鑑賞の両面から学習を深め､幅広い表現と鑑賞の能力を高め、感性を豊かにします。書の三分野（漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書）において様々な形式の作品を制作します。作品に押印するための落款印の製作【篆刻】もします。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができている。	書の創造的な諸活動に主体的に取り組み、生涯にわたり書を愛好し自身の感性を高めようとしている。 書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けるような表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	古典に学ぶ(臨書研究) 各書体、古典から学ぶ 篆書・隷書・草書・行書・楷書・仮名(半紙・画仙紙等を使用)	a:古典を良く見て用筆・運筆が理解できている b:古典の特徴を理解し意図に応じた表現ができている c：興味関心をもって取り組んでいる	作品	作品	ワークシート
	作品制作(臨書篆刻表具	漢字の古典を選び、計画的に、半紙練習、画仙紙制作に取り組む。 落款印の製作	a:古典の特徴を捉え取り組んでいる b:表現意図と用具用材を生かした作品となっている c:制作過程に於いて課題を見つけ、モチベーションを維持し意欲的に取り組んでいる	作品	作品	ワークシート 取り組み
2学期	作品制作((漢字)	臨書作品の経験をいかし、漢字作品、仮名作品の題材を選び、画仙紙に制作する 題材決め、参考古典参考作品を決め字調べ、草稿、練習、画仙紙、選別、表装 各作品決定においては、作品プレゼンテーションを行う。	a: 意図に応じた題材を選定し構想・書体に応じた技法などを考え制作する。 b: 自身の意図や思いを、技法にも基づき効果的に表現している。 c: 制作過程に於いて課題を見つけ、モチベーションを維持し意欲的に主体的に取り組んでいる。	制作過程における半紙作品及び画仙紙作品	画仙紙作品	ワークシート 取り組み
	作品制作(仮名)	大字作品 和歌を選ぶ、字調べ、草稿、制作、選別、表具、プレゼン	a:大字仮名の用筆に基づき制作している。 b: 自身の意図や思いを、技法にも基づき効果的に表現している。 c: 興味関心をもって、作品制作に主体的に取り組んでいる。	制作過程における半紙作品及び画仙紙作品	画仙紙作品	ワークシート 取り組み
3学期	多様な作品制作	工芸的な作品も視野に入れ、小さなサイズも含め作品制作する	a:素材や材質に応じた書き方ができている。 b:創意工夫があり、漢字と仮名が調和し効果的に表現している。 c:興味関心をもって、作品制作に主体的に取り組んでいる。	下書きも含めた作品	作品・成果物	ワークシート・取り組み
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度